

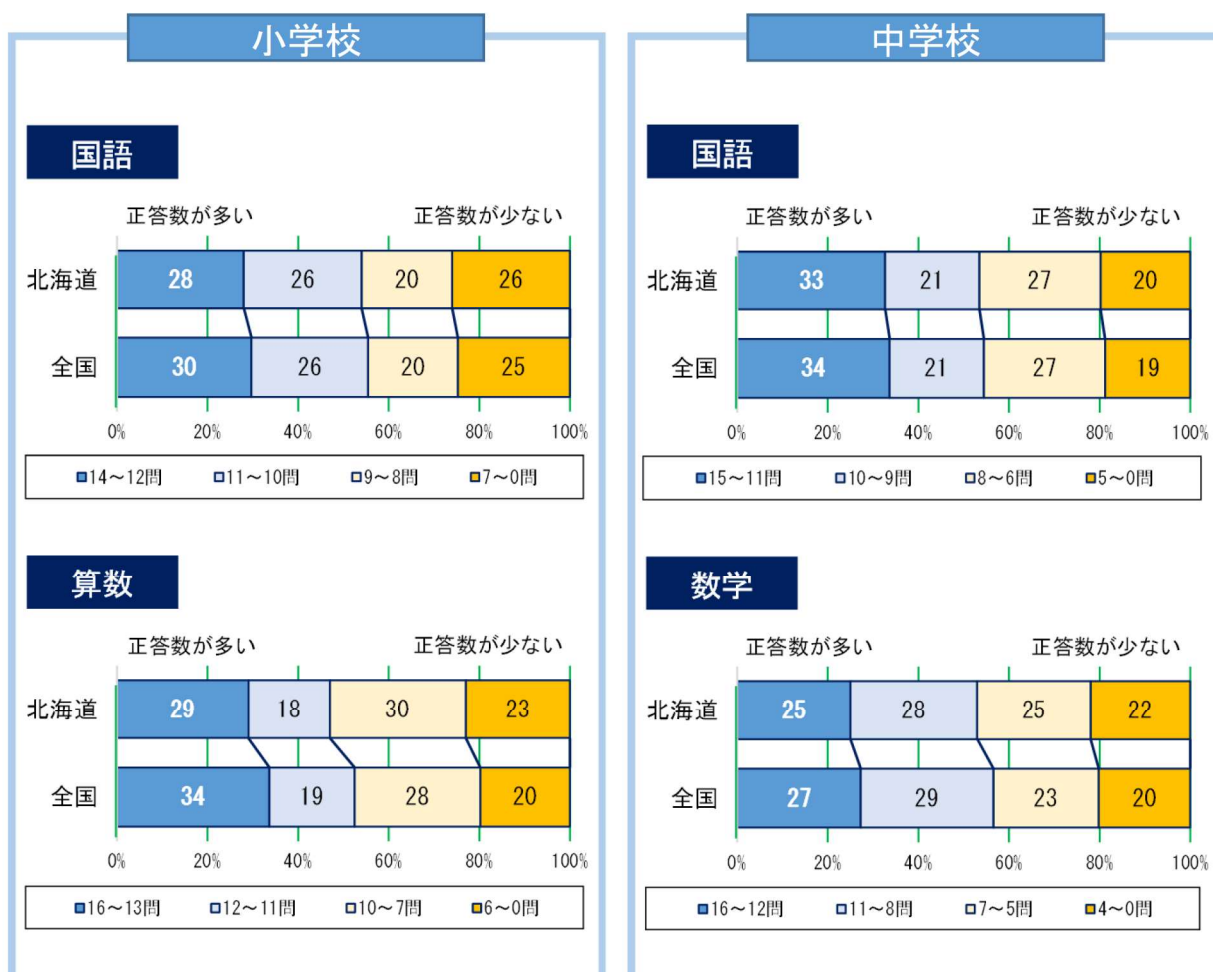
3 正答数の状況

教科調査における本道の正答数の状況について、全国との比較を示しています。

(1) 教科ごとの正答数別4つの層の割合

※ 全国の児童生徒を正答数の大きい順に整列し、人数の割合により、「正答数が多い層」「正答数がやや多い層」「正答数がやや少ない層」「正答数が少ない層」の4つの層に分け、それぞれの層の正答数の範囲と同じ範囲に含まれる北海道の児童生徒の割合を示したものです。

※ それぞれの層の割合の数値は、小数第1位を四捨五入した整数値で表しているため、合計して100にならない場合があります。



〔小学校〕

- ◆ 国語、算数ともに、正答数が多い層の割合が全国と比べて少なく、正答数が少ない層の割合が全国と比べて多い。

〔中学校〕

- ◆ 国語、数学ともに、正答数が多い層の割合が全国と比べて少なく、正答数が少ない層の割合が全国と比べて多い

〔小・中学校〕

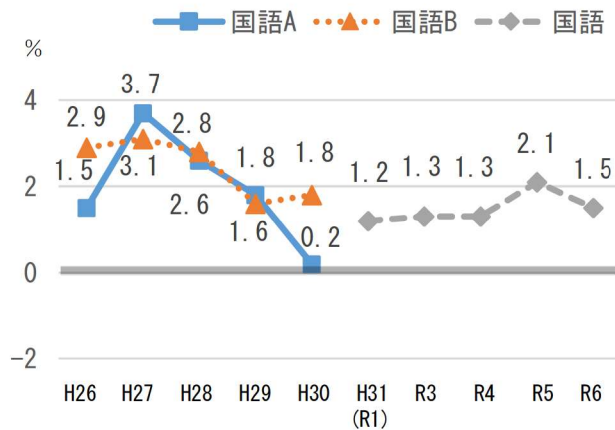
- ◆ 4教科のうち、中学校国語が、正答数が多い層及び正答数が少ない層の割合において、国との差が最も小さい。
- ◆ 4教科のうち、小学校算数が、正答数が多い層及び正答数が少ない層の割合において、国との差が最も大きい。

(2) 正答数の少ない層の割合

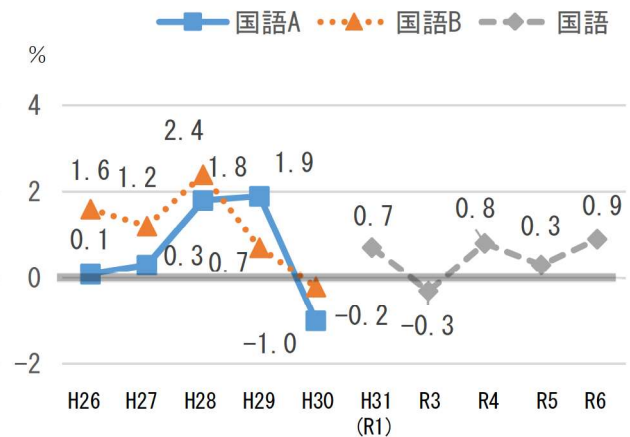
※ 全国の「正答数の少ない層」と同じ範囲に含まれる児童生徒の割合について、各教科の平成26年度（2014年度）から令和6年度（2024年度）までの全国との差の推移を示しています。

- ・ 0を上回る場合→全国と比べて「正答数の少ない層」が多い
- ・ 0を下回る場合→全国と比べて「正答数の少ない層」が少ない

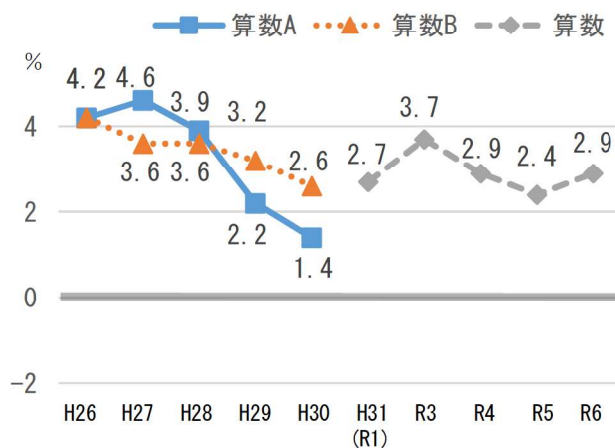
小学校国語



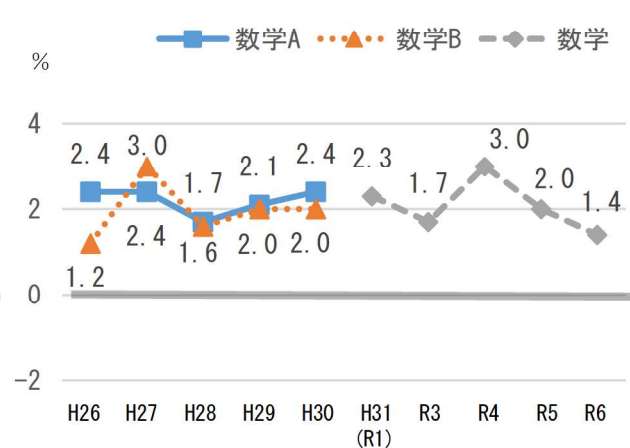
中学校国語



小学校算数



中学校数学



〔小学校〕

- ◆ 国語の全国との差は、H31(R1)からR6の間、1.2ポイントから2.1ポイント以内で推移し、R6はR5に比べて、差が0.6ポイント縮小した。
- ◆ 算数の全国との差は、H31(R1)からR6の間、2.4ポイントから3.7ポイント以内で推移し、R6はR5に比べて、差が0.5ポイント拡大した。

〔中学校〕

- ◆ 国語の全国との差は、H31(R1)からR6の間、-0.3ポイントから0.8ポイント以内で推移し、R6はR5に比べて、差が0.6ポイント拡大した。
- ◆ 数学の全国との差は、H31(R1)からR6の間、1.7ポイントから3.0ポイント以内で推移し、R6はR5に比べて、差が0.6ポイント縮小した。

〔小・中学校〕

- ◆ 今年度4教科のうち、中学校国語が、全国との差が最も小さい。
- ◆ 今年度4教科のうち、小学校算数が、全国との差が最も大きい。